

→ここに注目!

コロナ後の世界  
—ヨーロッパの  
経験から

# 社会科 NAVI



本資料は、一般社団法人教科書協会  
「教科書発行者行動規範」に則り、  
配布を許可されているものです。

※本冊子掲載QRコードのリンク先コンテンツは予告なく  
変更または削除する場合があります。

※QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

日文の実践事例、教科情報

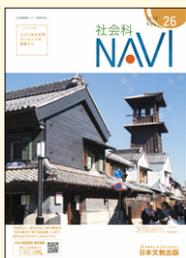
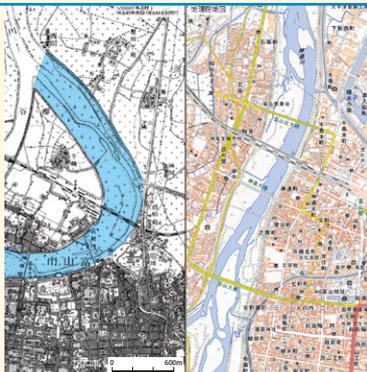
詳しくはWebへ!

日文

検索



未来をになう子どもたちへ  
日本文教出版



表紙写真解説

川越の蔵造りの町なみと時の鐘：札の辻を北端とし、仲町を南端とする中央通り沿いの南北約400m、東西約200m、面積約7.8haの範囲が重要伝統的建造物群保存地区に指定されている。「時の鐘」は約400年前に創建された。現在建っているものは4代目で、1893（明治26）年に起きた川越大火直後に再建されたものである。

3

著者だより

なぜ社会科が好きですか？

鹿児島大学准教授 田口 紘子

4

ここに注目！

コロナ後の世界  
—ヨーロッパの経験から

大阪大学名誉教授 川北 稔

6

実践ファイル

〔小学校編〕自然災害からわたしたちを守る活動  
～奈良県の自然災害～

元奈良県小学校教科等研究会社会科部会 事務局長

元奈良市立飛鳥小学校研究主任 上田 尚史

〔中学校編〕アフリカ州の発展のために何ができるか？

中学校教員

10

授業力アップをめざす先生のための社会科のABC

〔小学校編〕地図帳や地球儀の活用

國學院大学教授 安野 功

〔中学校編〕コロナ禍の中で協同的学びの授業を創る

大阪教育大学・武庫川女子大学非常勤講師 丹松 美代志

12

地域の歩き方 vol.1

鱒寿司の秘密

富山大学教授 大西 宏治

14

ようこそ！ 歴史史料の世界へ vol.25

アイヌ文化の成熟と流通

京都大学教授 岩崎 奈緒子

16

現代社会ウォッチング vol.II

匿名による表現は卑怯なのか？

～発信者情報開示制度の改正の検討～

同志社大学大学院司法研究科教授 松本 哲治

18

地域からの発信

「花のまち」恵庭 から北のガーデンシティへ  
～北海道恵庭市の取り組み～

北海道恵庭市企画振興部まちづくり拠点整備室

イラスト 森のくじら (P.3, 4, 6, 8, 10, 16)

デザイン 株式会社京田クリエーション

# 著者 だより

リレーエッセイ

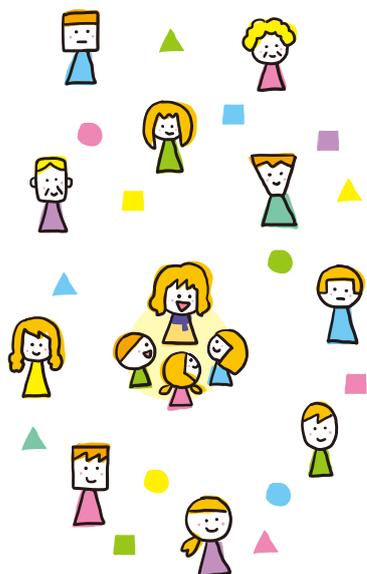


田口 紘子 (たぐち ひろこ)

専門分野 / 社会認識教育学

主要著書 / 『現代アメリカ初等歴史学習論研究』(風間書房, 2011年), 『社会形成科社会科論』(共著, 風間書房, 2019年)など

日本文教出版『小学社会』『中学社会』教科書著者



## なぜ社会科が好きですか？

鹿児島大学准教授 田口 紘子

2017(平成29)年改訂の学習指導要領に関する中央教育審議会資料に「将来の変化を予測することが困難な時代を前に…」という一節がある。将来の予測が困難な時代と聞いて私がイメージしたのは、2020年の小学1年生が大学生として就職活動を始め、2034年頃だったのか、それとも「まだ先のいつか」だったのか。もしかすると漠然としたイメージすら持たず、自分事として受け止めていなかったのかもしれない。そう痛感したのは、もちろん新型コロナウイルス感染拡大にともなう様々な社会の変化を目の当たりにしたからだった。

社会や技術が加速度的に変化し続けていることを強烈に実感したが、玉石混交の情報から適切に現状を認識しているのか不安に感じたり、将来の問題や変化を予測する難しさを感じたりもした。そして、このように複雑な社会を、過度に単純化せず、子どもたちにとって適切でわかりやすく、興味深く教え、将来を予測させることは本当に可能なのかと自問することも多かった。

一方で、新型コロナウイルスが社会にもたらした問題や露呈させた不平等などの負の側面ばかりに注目するのではなく、前向きな変化にも意識を向けるべきだとする主張もある。今回私が改めて思い出したのは自分が社会科を好きな理由である。

新型コロナウイルス感染対策で制限された選挙戦では現職有利と言われ、東京都知事選挙でも現職が再選された。一方、鹿児島県知事選挙では過去最多7名の立候補者から現職でも前知事でもない新人が当選した。これに対しあれやこれや疑問が浮かび、誰かと話し合いたいと強く思った。人と人が集まってつくる社会は複雑で解決すべき問題も山積みだが、社会の不思議を少しでも解き明かしたいし、社会に関わっていききたい。社会について子どもたちと一緒に考え続けていきたい。

# コロナ後の世界 — ヨーロッパの経験から

●大阪大学名誉教授 川北 稔

人に「うつる」病気という意味での感染症は、ときによって、伝染病とか、疫病とかよばれてきたが、その歴史は、人類の歴史とともに古い。なかでも一定の地域でだけみられたものは、「風土病」(エンデミック)とよばれ、日本であれ、ヨーロッパであれ、どこにでも存在した。

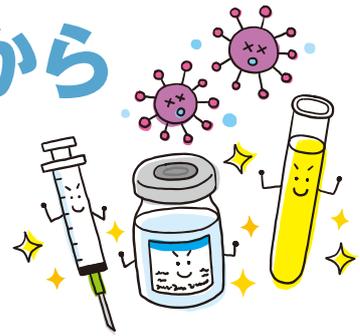
## 1 地域間交流と疫病 — 「パンデミック」

しかし、歴史の進展とともに、人びとの地域間の交流がさかんになると、そうした病気も特定の地域内ではおさまらず、広範囲に拡大する。新たに広がった地域では、抗体をもつ人もいないので、その疫病は猛威をふるうことになる。こうして世界的に広がったものを「パンデミック」とよぶ。中世のヨーロッパで大流行したペスト(黒死病)も、16世紀以降にはやった「フルー」(インフルエンザ)も、19世紀のコレラも、もっと最近のエイズやサースなども同様である。

すでに抗体をもつ人も多い、限られた地域の病気として、いわば安定していた「エンデミック」が、世界的に広がって「パンデミック」になるのは、主に人の交流の結果である。したがって、歴史的には、急に遠隔地との人の行き来が盛んになったときに、最も起こりやすく、ヨーロッパの歴史からすれば、アレクサンダー東征や十字軍、大航海時代、帝国主義時代、近年のグローバル化などの時代に顕著な傾向である。ヨーロッパ人の発想からすれば—いかにも偏ったヨーロッパ中心の見方ではあるが—、パンデミックのほとんどが、アジア、アフリカ、アメリカ発だということになるのは、そのためである。中世以来のペストも、16世紀のインフルエンザも、いずれもアジアのものともみなされ、梅毒はアメリカ発、エイズやエボラ出血熱はアフリカ発とされている。

つまり、近世以降、ヨーロッパ人が進出して世

界各地の開発を進めた結果、現地の「風土病」を持ち帰ることになって、「パンデミック」化するケースが多い。この意味で、近年のグローバル化に伴うものを「開発原病」とよぶこともある。



## 2 ペストの流行 — 黒死病からロンドンのペストへ

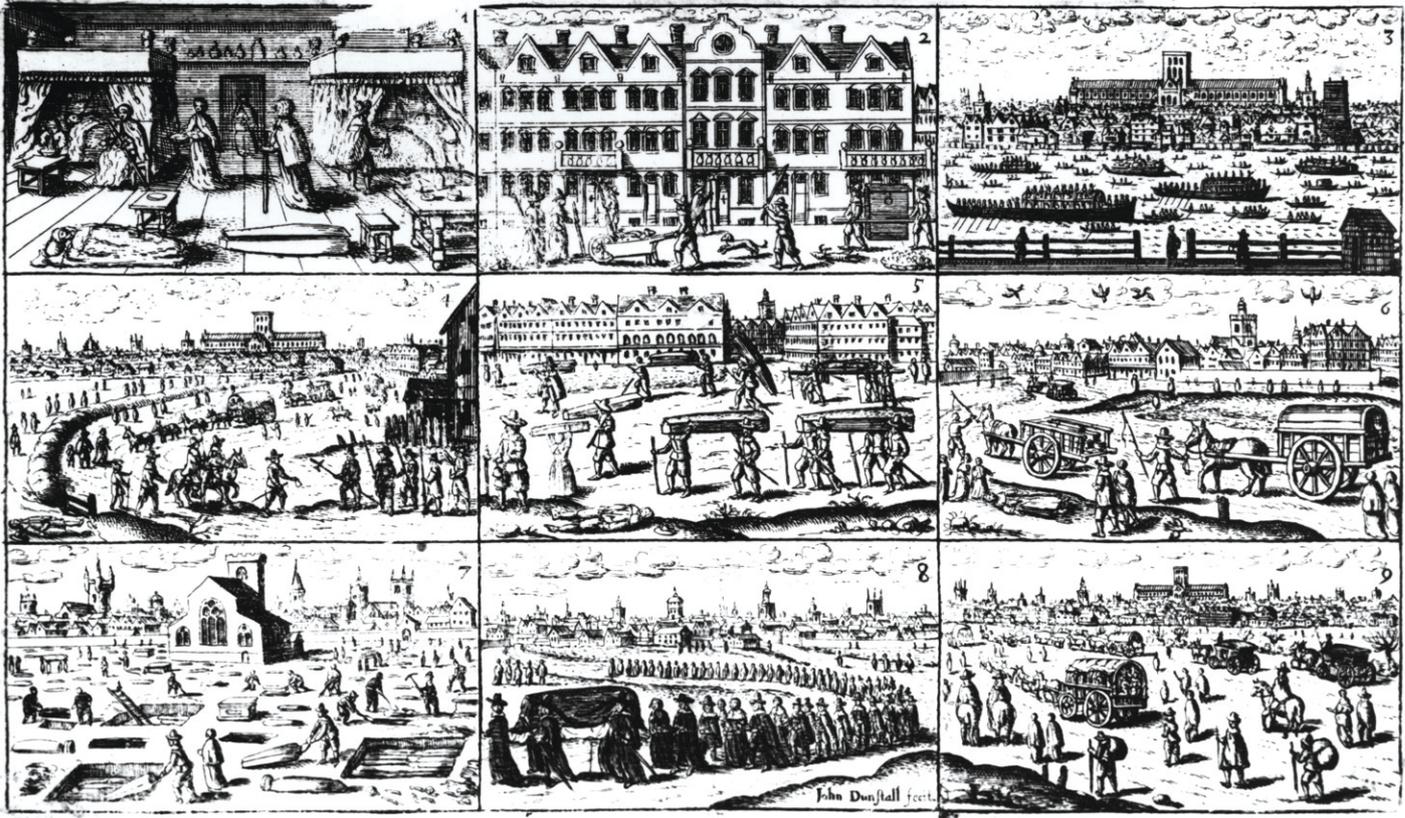
ヨーロッパでは、12・3世紀に激しい人口増加があり、食糧供給の必要から耕地の開墾がすすみ、「大開墾時代」とよばれてきた。しかし、14・5世紀、「黒死病」の名で知られるペストが繰り返し流行して、農民の3分の1が失われた。労働力不足に直面した領主は、荘園経営が難しくなり、「封建制の危機」が到来した。中世という時代が終焉にむかっただのである。農民一揆とまでいわなくても、農民が示しあわせて逃亡する「逃散」などの抵抗手段が有効になり、「廃村」現象も目立つようになった。

近世になると、1665年にロンドンで猖獗をきわめたペストについては、『ロビンソン漂流記』の著者デフォーによる記述(『ペスト』)や海軍省高官ピープスの日記があって、詳細な様子がわかる。そこにみられるのは、外から板を打ち付けて感染者の家族を「ロックダウン」したり、船や馬車を使って、首都ロンドンから地方に「疎開」する人びとの群れから、果ては大量の死体を荷車で運び、大きな穴にほうりこんで「処理」する姿など、現下のコロナ騒ぎで武漢やニューヨークでもみられた光景に近いものがあつた。ピープスは、近代科学のゆりかごとなった「王立協会」の前身にあたる講演会の常連であつたが、ペストのまえには、「ただ幸運を祈る」ほかなかつた。

翌年、ロンドンは歴史に残る大火を経験し、ペストもようやく終息したが、二つの複合災害はイ

of the Last Great Years of Pest  
in every Parish in the said Years

for the City of LONDON, And Parishes Adjacent:  
1665. being the ACCOUNT how many Persons died Weekly in every of those YEARS, also how many the  
Figures of the Greatness of the CALAMITY, and the Violence of the DISTAMPER in the Last Year, 1665.



▲ ペスト禍の1665年のロンドン。病院、埋葬、船や馬車でロンドンからの避難などを描いた当時の挿絵。

ギリス人の心性に深刻な影響を与え、ロンドンが石造りの建物をもって再建されたし、「王立協会」は三代目会長にニュートンを迎え、いわゆる「科学革命」の時代を現出する。他方、ペストに対して無力であった宗教への信頼は大きく後退して、17世紀末の名誉革命を経た18世紀のイギリスでは、それまでの激しい宗派对立に代わって、宗教的「寛容」が時代の流れとなった。

### 3 コロナ後の世界

いま世界を席卷している新型コロナウイルス禍は、歴史に何をもたらすのだろうか。医学への信頼が揺らぐとか、宗教に傾斜することはなさそうだが、ことの経緯からすれば、行きすぎたグローバル化にはブレーキがかかるであろうし、ニューヨークの惨状を目にした以上は大都市への「集中」にも、警戒心がひろがるであろう。とくにわが国の場合、東京一極集中への反省が提起されることになるかもしれない。

しかし、何よりも警戒すべきは、コロナ流行以前からすでにみられた偏狭な排他主義の傾向が勢いを増しかねないことである。EU離脱過程にあるイギリスでは、さっそく、人工呼吸器やワクチン開発で、EUとの連携がうまくいかないことが懸念されている。トランプ大統領のアメリカのほか、ジョンソン首相のイギリスやブラジルなど、「一国主義」の指導者をもった国の多くが対策に失敗したことは、世界の政治をより穏やかな方向に軌道修正させるかもしれない。人の交流が警戒されるようになった以上、経済の回復は容易ではない。経済成長至上主義が見直される契機にもなるかもしれない。

● 川北 稔 (かわきた みのる)

専門分野/イギリス近世史  
 主要著書/『工業化の歴史的前提』『民衆の大英帝国』『砂糖の世界史』(以上岩波書店)、『イギリス近代史講義』(講談社)、『世界システム論講義』(筑摩書房)など  
 日本文教出版『中学社会』教科書著者





4年生

# 自然災害からわたしたちを守る活動

## ～奈良県の自然災害～

●元奈良県小学校教科等研究会社会科部会 事務局長  
元奈良市立飛鳥小学校研究主任

上田 尚史



本単元では、3年「安全な暮らしを守る」における警察や消防の働き、4年「県のように」における地理的特徴との関連が考えられる。前者は、公共の概念のもと、緊急事態への予防と緊急時の働きが、後者は、自分の住んでいる場所で発生しやすい自然災害を考える際の参考となることである。既習の学びを見方・考え方として活用する場面を設けることで、主体的・対話的で深い学びをおこなうことができる。

また、選択・判断として単元の「出口」では、本単元で学習したことを活用して、自分事として考え、自分の生活の中で自然災害に対する備えを考え、導き出させたい。自然災害への備えは、自然災害の種類や、場所に応じて、避難場所や経路が変わる点に特徴がある。学級で一つの考えにたどり着かせるのではなく、一人ひとりが異なる考えにたどり着くこ

とができるようにしたい。

学習を通して、地震災害に備えて、自分たちでできること・できないこと、だれが・何ができるか・するべきか・してはいけないかを児童に考えさせ、意見の可視化を大切にしたい。つまり本単元で到達すべき概念的知識（災害による被害を少しでも防ぎたい・減らしたいという人々の願いを実現するために連携しながら工夫や努力をしている社会の仕組みを捉える）を獲得した児童が、そこで学びを終えるのではなく、「だからわたしたちはどうするのか」「何をしなければならないのか」「何をしてはいけないのか」と、よりよい生き方を追究すること、さらに行動化を目指していくことを追究することにより、持続可能な社会の創り手、持続可能な奈良の担い手を育てることになると考えた。

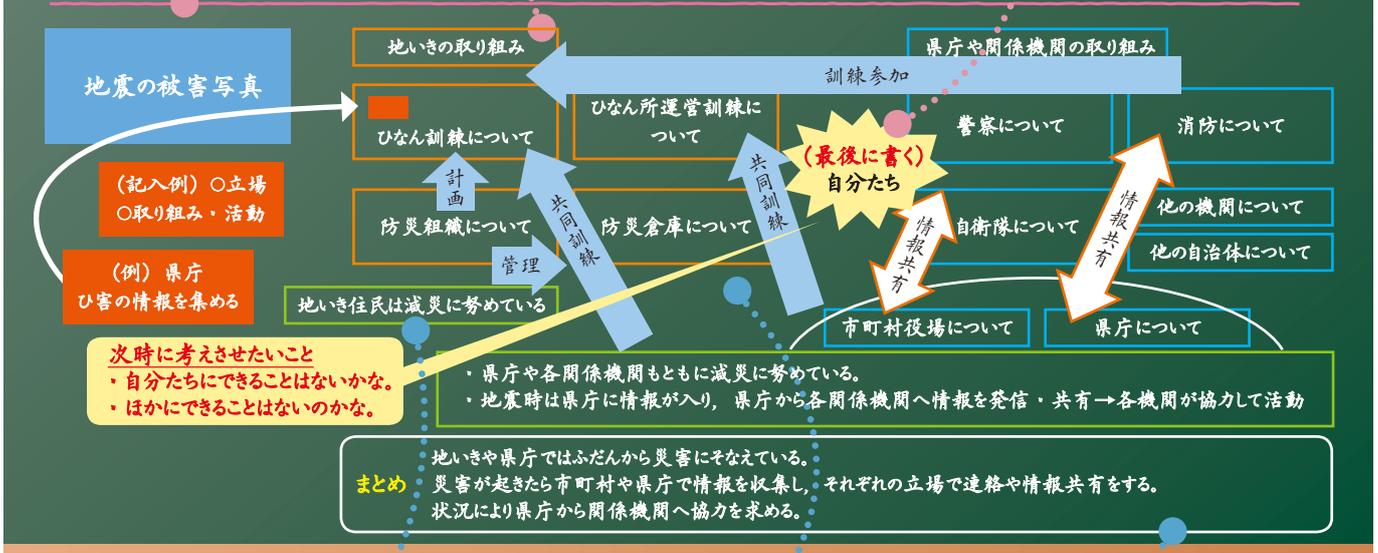
### 発問例

地震災害からくらしを守るためにだれがどのようなことをしているのだろう。

地震に備えて関係機関や地域ではどのような対策がされているのだろう。

地震の被害を小さくするために、わたしたちはどのようなことができるのだろう。

### 学習問題：地震災害からくらしを守るために、だれがどのようなことをしているのだろう。



### 板書のPoint

自分（自助） 地域（共助） 関係機関（公助）を可視化し、それぞれの働きを整理する。

自分・地域・関係機関の地震の被害を減らす・なくすための仕組みや人々の働きが見えるように。

次時の自分たちにできることで使えるように画像などで残しておきたい（もしくは2時間扱いで自分にできることも学習する）。

## 本時の展開例

児童の活動と内容	指導上の留意点
<p>⌚…配分時間</p> <p>教…教師の発問・指示・説明例 児…予測される児童の発言</p> <p>①奈良県内において、大きな地震が発生していることを ⌚10分理解させ、今後も発生が予想されていることを理解する。</p> <p>教 昨日、地震速報が流れていたけれど、奈良県では地震は起こらないのかな？</p> <p>児 奈良県は揺れなかったけれど、昔から被害があるし、いつ起こるかはわからないね。</p> <p>児 南海トラフ巨大地震が起きる予想があるね。</p> <p style="text-align: center;"><b>学習問題 地震災害からくらしを守るために、だれがどのようなことをしているのだろう。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良県内で過去に起きた地震についての年表や写真などを再掲示する。</li> <li>・恐ろしさや被害の大きさを感じることによって、対処や備えについて、切実感をもって考えようとする意欲を醸成させたい。</li> </ul>
<p>②地震への備えについてわかったことや考えたことを ⌚10分書き、備えを立場に分けて黒板に貼る。</p> <p>教 地域、関係機関の取り組みについてわかったことをカードに書き、立場に分けて黒板に貼る。</p> <p>児 県庁の人が情報を集めているよ。</p> <p>児 警察や消防が出動するね。</p> <p>児 自治会で防災倉庫を用意したり、避難訓練をしたりしている。</p> <p>児 自治会の中で防災組織をつくっている。</p> <p>児 自衛隊や国、周辺自治体だけでなく、全国からも救援に来てもらう連絡体制があるんだね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みを立場に分けてそれぞれで書かせる。 地域……オレンジ色のカードに記入 関係機関……青色のカードに記入</li> <li>・カードを項目ごとにグループ化し分類して貼り付けていく。</li> </ul>
<p>③学習問題を解決する ⌚25分</p> <p>教 学習問題「地震災害からくらしを守るために、だれがどのようなことをしているのだろう。」を解決しよう。</p> <p>児 地域ではふだんから、災害に地域住民と行政が協力して備えている。また、それぞれの立場で連絡や情報共有ができるような仕組みがつけられている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立場は違っても共通していることと役割の違いに気づかせ（公助・共助）、次時の自分たちにできることにつなげる（自助）。</li> </ul>

## 本時の目標

関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動とその働きについて考えるとともに、想定される災害に対して様々な備えをしていることについて理解する。

## 本時の評価

### <知識・技能>

・地域の関係機関や人々は、地震に対し、様々な備えをしていることを理解することができる。

### <思考力・判断力・表現力等>

・関係機関の協力などに着目し、地震災害への対処における自助・共助・公助の大切さを考え表現することができる。



國學院大學教授 安野 功先生からの

## 一言アドバイス

学習指導要領では、「防災を含む安全に関する教育」など、災害等を乗り越え次代の社会を形成することに向けた現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を、地域や各学校の特色を生かし、教科等横断的な視点で育成していくことを求めています。

上田実践はこの趣旨を受け、社会科という教科の役割を踏まえ、「災害による被害を少しでも防ぎたい・減らしたい」という願いの実現に向けて「だれがどのようなことをしているのか」を個々の子どもが追究し、その学びを『地域』と『関係機関』という二つの立場に分けて分類・整理し、それぞれの働きや役割、相互の協力関係を捉え、その学びを生かして「自分たちにできることはないか」という自助に目が向くよう子どもの問題意識を深めていきます。



地理的分野

# アフリカ州の発展のために何ができるか？

● 中学校教員



新学習指導要領では、地理的分野で五つの「地理的な見方・考え方」が示された。本稿では、これらの「見方・考え方」のうち、「空間的相互依存作用」に着目して授業を組み立てていく。本単元は、「世界の諸地域」のうち「アフリカ州」についての学習である。テレビ・インターネットなどの情報や前章の「世界各地の人々の生活と環境」の学習から、「砂漠が広がり、熱帯気候や乾燥帯気候が分布し、生活しづらい」「貧困が深刻である」「衛生面で不安がある」「内戦が多く治安が悪い」といった、アフリカ州に対して一面的でネガティブなイメージを持っている生徒が多い。それらはアフリカ州が抱える課題として事実の部分もあるが、アフリカ州の現状や課題について、学習を通して多面的・多角的に捉えられるようにしたい。

今回は、アフリカ州の人々の生活の変化を中心に捉え、アフリカ州が抱える課題を解決し、発展・自立をするための取り組みについて追究していく。

本時では、前時までに獲得した知識も活用しながら、アフリカ州が抱える課題を解決し発展していくための方策や取り組みについて、根拠となる資料を基に選択・判断し、アフリカ州の自立の必要性について自己の考えを深めることをねらいとする。

発展途上にあるアフリカ州の様子や、日本をはじめとした先進国とアフリカ州の関わりについて、生徒が主体的に学習をすすめ、広い視野で捉えられるよう、「空間的相互依存作用」という「地理的な見方・考え方」を働かせることは、意義深い学習になると考える。

発問例

アフリカ州が抱える課題を解決し、発展していくためにはどのようなことができるのだろうか？

あげられた課題について、解決のためにできることを、アフリカ州の国々と先進国それぞれの立場で考えよう。

アフリカ州の発展のためには何ができるか、友だちの考えと比較しながら、自分の意見を考えよう。

## アフリカ州の課題を解決し、発展するために何ができるだろうか？

### アフリカ州の課題

- ①モノカルチャー経済
  - ・プランテーション農業
  - ・特定の農作物の生産
  - ・鉱産資源の輸出
- ②民族間の争い
  - ・旧宗主国の影響
  - ・直線的な国境
  - ・人種差別
 ほかにも
  - ・砂漠化
  - ・病気
  - ・食料不足
  - ・人口増加など

課題解決 → アフリカ州の発展へ

	アフリカ州の国々	日本やほかの先進国
経済 モノカルチャー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産する農作物の種類を増やす</li> <li>・工業化</li> <li>・観光業</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資金援助</li> <li>・技術支援</li> <li>・フェアトレード</li> </ul> 
争い 民族間の	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AUの結成、政治的団結</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国連による支援</li> </ul> 

### 先進国の協力

- 技術教育
- 資金教育

### アフリカ州

- ・受けた教育を生かす
- ・ほかの州にないものを生かす
- レアメタル
- 希少な農作物

### 自立がキーワード!?

自分の考え、まとめ

板書のPoint

前時までの学習内容を振り返り、本時で追究する二つの視点で課題を整理する。

自立するための取り組みについて、課題と立場を整理しながら追究できるようマトリックス表で整理する。

生徒の考えや感想を板書し、アフリカ州の自立のための取り組みを自分との接点で考えられるようにする。

## 本時の展開例

生徒の活動と内容	指導上の留意点
<p>🕒…配分時間</p> <p>👨‍🏫…教師の発問・指示・説明例 👧…予測される生徒の発言</p> <p>① <b>導入</b>：アフリカ州の課題を振り返り、本時の学習問題をつかむ。🕒 10分</p> <p>👧 民族間の対立や人種・民族による差別の問題がある。</p> <p>👧 モノカルチャー経済のため経済が安定しない。</p> <p>👨‍🏫 課題を解決し、アフリカ州が発展するためには何ができるか考えましょう。</p>	<p>・環境問題、病気の流行、人口増加など複数あるアフリカ州の課題を整理し、民族間の対立とモノカルチャー経済による貧困を、学習問題を追究する視点として設定する。</p>
<p><b>学習問題</b> アフリカ州が抱える課題を解決し、発展していくためにはどのようなことができるのだろうか？</p>	
<p>② <b>展開</b>：アフリカ州が抱える課題を解決する方法を、資料を基に調べる。🕒 25分</p> <p><b>【アフリカ州各国の取り組み】</b></p> <p>👧 アフリカ連合（AU）という組織を作り、EUを参考にした地域統合を目指しているそうです。</p> <p>👧 旧宗主国に影響されない政治や経済の取り組みが重要な。</p> <p>👨‍🏫 モノカルチャー経済を解決させる考えはありませんか。</p> <p>👧 第2次産業と第3次産業を発展させていく必要がある。</p> <p>👧 動物を見るサファリツアーのような観光業にも力を入れていけると良い。</p> <p><b>【日本や他の先進国の取り組み】</b></p> <p>👧 レアメタルなどの鉱産資源を工業化する技術の導入や、工場の建設を先進国に協力してもらおうと良い。</p>	<p>・意見を表に整理する際は、教科書や資料集などの資料を根拠として、考えを整理できるようにする（左ページの板書例にある表）。</p> <p>・「持続可能な社会」という視点で意見を構成することを助言し、空想の話にならないように留意させる。</p> <p>・南アフリカ共和国によるアパルトヘイトの例を取り上げ、人種差別解消の取り組みが進んでいることを捉えさせる。</p> <p>・個人で調べた後、グループで話し合いながら意見を整理する。</p>
<p>③ <b>まとめ</b>：調べたことを基に、課題に対する考えをまとめる。🕒 15分</p> <p>👧 技術協力も重要だと思ふけれど、アフリカ州の人々が自分たちで考えて、自分たちで経済力を高められるような自立の取り組みが必要になると思う。</p> <p>👧 先進国が工場を作ったり、貿易相手になったりするだけでなく、アフリカ州の人々が、自分たちで新たなものを生産したり、開発したりできるように教育をすることが大切だと思う。</p> <p>👧 旧宗主国の依存から脱却し、自立できるとよいと思う。</p>	<p>・現地の人々の手で継続できる支援が、先進国にとって必要な取り組みであることを捉えさせる。</p> <p>・NGOや海外青年協力隊の取り組みについて紹介し、日本の青年がアフリカ州の発展に貢献していることを捉え、自分にもできることは無いか考えさせる意欲付けとなるようにする。</p>

## 本時の目標

アフリカ州が抱える課題を解決し、発展していくための取り組みについて、諸資料を根拠として、アフリカ州の国々と日本などの先進国の視点で意見交流し、考えを深めることができる。

## 本時の評価

諸資料を根拠として、アフリカ州が抱える課題を解決し、発展していく取り組みについて考察している。



筑波大学教授 井田 仁康先生からの

## 一言アドバイス

「世界の諸地域」学習では、主題の設定の仕方が鍵の一つとなります。本実践では、前単元（ヨーロッパ州）の学習と関連させて、とすればネガティブなイメージを持たれがちなアフリカ州を、ポジティブな側面から追究できる主題を提示しています。そのうえで、輸出や国際協力といった「空間的相互依存作用」に着目して、世界とのつながりの中で、アフリカ州の課題を解決するための学習活動が組み立てられています。こうした学習により、アフリカ州の課題の解決には、自分たちも関わっているという自覚を芽生えさせることができます。

小学校編

## 地図帳や地球儀の活用

● 國學院大學教授 安野 功

### ● 地図帳の効果的な活用を図るポイント

地図帳は、教科用図書として、2020年度から3年生から6年生までの4年間、教科書と併用して使用する社会科の主たる教材です。その活用のポイントは次の通りです。

#### “地図帳を自在に使いこなす” 知識や技能を育てる

子どもが地図帳を自在に使いこなすためには、機会あるごとに、次の指導に力を入れていきます。

①各学年の年度初めに、地図帳の構成や使い方を指導する。例えば、地図帳には、地図の約束ごと、地図帳の使い方、日本の地方別、世界の地域別の地図、日本とそのまわりの地図、日本や世界の各地の詳細な地図、主題図や各種の統計資料などが掲載されていること。それらについて、発達の段階や子どもの実態を考慮し、必要な部分を選択して指導する。



②地図帳に掲載されている「索引の見方」について、実際に地名の位置を探る活動を取り入れ、具体的に指導する。例えば、自分たちの住む都道府県や市区町村の位置を、索引を使って調べ、確かめる。

③方位、距離と縮尺、土地の高さ、地図記号など、地図を読むときの約束ごとを必要に応じて指導する。

④地図からその場所のイメージを膨らませる力を養う。例えば、鳥瞰図やイラストマップを使って案内したい場所やルートを決め、そこに行くまでの方位、ルート調べて案内文を書く。

⑤地図から必要な情報を読み取る技能を指導する。例えば、地図の主題、凡例、縮尺などを確認したあと、県の境界、地形や土地利用の様子、主な鉄道や

道路、産物などを読み取る。

⑥土地の高低を読み取る技能について具体的に指導する。例えば、地図の断彩から、山地や川（上流・下流）、土地の高低などを読み取る。

⑦縮尺で距離を調べる技能を指導する。例えば、縮尺と定規を用いて、自分のまちから水源地（ダム）や浄水場までの距離を算出する。

#### “地図帳に慣れ親しむ” 機会を意図的に設ける

教師が各単元の指導に当たる際、地図帳を活用する場面を事前に洗い出します。そして、前述した①～⑦のなかで必要だと判断した活動を取り入れるなど、機会あるごとに繰り返し指導することをとおして、地図帳に慣れ親しむ機会を意図的に設けることが大切です。

### ● 地球儀の効果的な活用をはかるポイント

地球儀は、5・6年の社会科において、世界の国々との正確な位置関係を確認する際の必須アイテムで

す。その活用のポイントは次の通りです。

○日本の国土の位置を調べる学習（5年）において、地球儀で、まず赤道を確認し、次に赤道との位置関係で日本の国土をとらえ、日本の国土が北半球に位置していることを確認する。

○他国との位置関係、特に方位に着目し、地球儀上で正確な位置関係を確認する。

○5・6年の各単元で、外国との位置関係を確認するなど、機会あるごとに子どもが地球儀を活用する。



地図帳や地球儀を自在に使いこなす知識や技術を育てるとともに慣れ親しむ機会を意図的に設けよう!

● 疫病との向き合い方を教材化する

中世のヨーロッパでは、ペストの流行で3000万人の死者が出て、教皇や皇帝中心の社会が大きく変容しルネサンスを招きました。現在のコロナウイルスによるパンデミックも、今日の社会を大きく変化させる可能性があります。

そこで、地元の資料を発掘して、生徒と一緒に、祖先是これまで疫病とどう向き合ってきたのかを探る主体的・対話的で深い学びの授業づくりを提案します。

● 大阪府池田市・稲束家日記を中心に

大阪府池田市は、元禄期には江戸への酒の積み出しが日本一の酒どころでした。その中で、江戸中期から酒造業を始めた稲束家<sup>いなつかげ</sup>には、1758（宝暦8）年から1943（昭和18）年までの186年間、歴代当主による日記が伝えられています。その中から、疫病に関するものをピックアップし、年表にしました。

年表からわかったことは、江戸時代から人々は疫病と向き合い、隔離はもちろん、人の移動や交易の禁止、学校の休校等の対策をとっているということです。今日のコロナ禍での緊急事態宣言に近いことが行われていました。また、疫病の流行は人口減少をもたらしました。以下に、年表の一部を示します。

● 1895（明治28）.9.1 コレラ病流行につき寺での読経を中止

戦後の余害としてコレラ病、赤痢病などが府下一円に流行して池田地方にまで伝播し、死者続出する有様であった。従って、池田の人口がこの年、前年と比較して389名の激減を見たのも死亡避難などのためであったろう。（当時の池田町の人口は約6500人）。（『池田市史概説篇』旧版、1955年）

● 1899（明治32）.11.29 ペスト流行により高法寺で特別診療を実施する。

明治32年、台湾から来航した船からペスト菌をもったネズミと感染した船員が神戸港に上陸したところからペストが拡大した。呉服橋西詰にある現JR川西池田

駅でも検疫が行われたが、翌33年5月、池田でも患者が発生した。すぐに患者の家路地の8軒には交通遮断、小学校は生徒の登校禁止、大消毒の実施が行われ、兵庫県を含む周辺村々では池田のペスト発生の実事が公文書で通達され、当分池田への交通と交易を差し止めた。池田では全町でネズミ狩りが行われ、1匹5銭で買い上げられた〔「大阪朝日」(明治33.6.1),『新修 池田市史』第3巻(2009年)〕。

● 1900（明治33）.5.17 ペストのため学校休みとなる

● 授業の展開の検討

「三密」を避けながらコの字の形式で授業展開をしたいが、無理ならスクール形式で行います。

1. 授業のねらい：「コロナ禍の中で疫病との向き合い方を探り、議論を通じて深めることができる」
2. 導入：池田市において、次の三つの戦争の中で戦後に人口が激減したのはどれか、理由も考える。

① 日清戦争 ② 日露戦争 ③ 第二次世界大戦

● 各戦争の戦死者を確認しよう

戦争	日本全体の戦死者	池田市の戦死者
日清戦争	約1万3309人	4人
日露戦争	約8万4000人	21人
第二次世界大戦	約310万人	648人

▲〔『国史大辞典』(吉川弘文館)及び『新修 池田市史』第3巻(2009年)・第4巻(2011年)より筆者作成〕

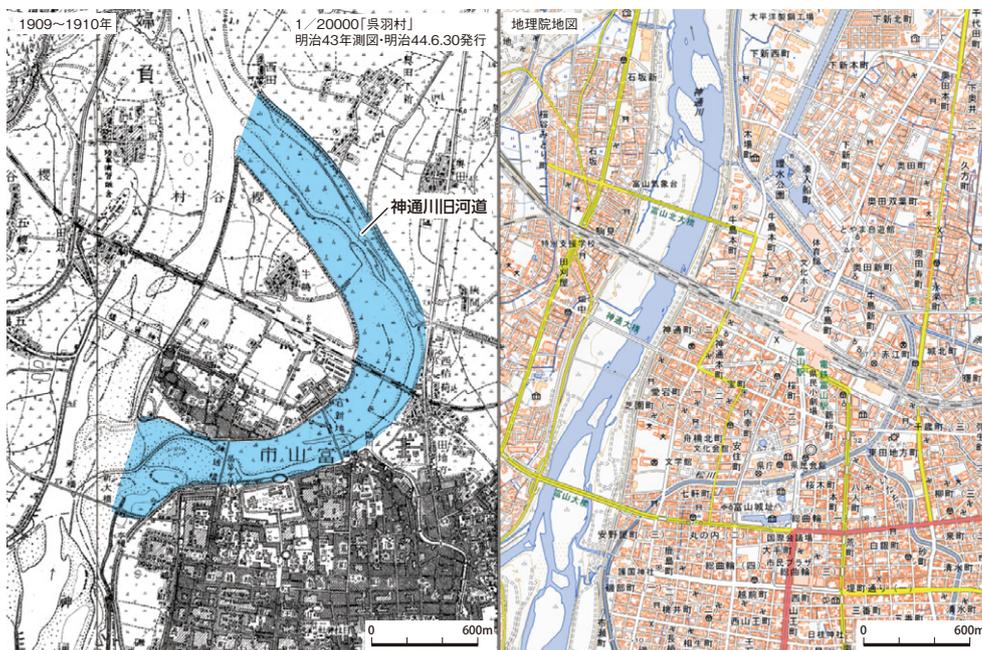
正解は①です。そこで、生徒は年表から探究します。

3. 共有の課題：「年表からいつ人口減少が起こり、人々は疫病とどう向き合っていたのかを探る」
4. ジャンプ課題（発展課題）：「年表からわかったこととコロナ禍の中で出された緊急事態宣言を比較し、これからのあるべき姿について議論する」
5. 振り返り：各自学んだことをまとめる  
グループにしていなくても、生徒の手で対話による探究をめざしたいと思います。なお、疫病の歴史は、各市町村史の年表からある程度探ることができます。各校でのオリジナルな実践を期待したいと思います。



# 鱒寿司の秘密

●富山大学教授 大西 宏治



① 富山市の新旧の地形図



② 富山市内の店で販売されている鱒寿司(上)や全国のコンビニエンスストアなどで販売されている寿司(下)

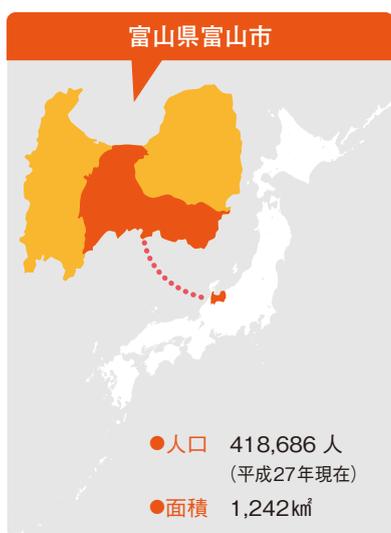
●このシリーズでは、みなさんの身近な地域から聞いたことがない地域まで、様々な地域を地理学の視点から解説します。  
 第1回は、大西宏治先生に富山市の地形と鱒寿司の関係に着目してご執筆いただきました。

## ますのすし

鱒寿司は全国に知られた富山の特産品である。全国的に有名になったのは、鱒寿司専門店の源が、1912年に駅弁として「ますのすし」を売り出したことに始まる。本格的な全国ヒットは、富山駅に特急列車が停車するようになった昭和30年代からである。さらに1990年代以降は手軽に食べることのできるパック入りやおにぎり型の「鱒寿司」が普及し、全国のスーパーマーケットやコンビニエンスストアで販売されている。鱒寿司の起源については諸説あるが、富山市の鶴坂神社で神通川の一番鱒を塩漬けにして春の祭礼に供えた発酵食品が、江戸時代に鱒の「早ずし」に変わったのではないかとされている。

## 鱒寿司専門店の登場

鱒寿司の専門店の誕生は神通川と関係が深い。明治期以降の新旧の地形図を切り替えながら表示できる「今昔マップ on the web」で富山市のかつての地形図をみると神通川が蛇行していることがわかる。その川岸に川魚を採って販売する魚屋が軒を連ねていた。鱒寿司は魚屋の加工品で、サクラマスの採れる時期の季節品であった。魚屋は松川周辺、特に七軒町に集中していた。神通川は蛇行した形状により繰り返し洪水を引き起こしていたため、1903年から直線化する「馳越線(はせこしせん)工事」が行われた(富山市史編纂委員会1960)。流路変更により、漁獲量が減少し、魚屋の継続が難しくなっていく。そこで他



- 場所 富山市内
- 訪問時期 2018年8月
- 訪問目的 日本地図学会の巡検
- アクセス JR富山駅から徒歩15分圏内

※ここでご紹介しているまち歩きは、新型コロナウイルス感染症流行前に行われました。



③ 富山市内で鱒寿司店が並ぶ場所



④ 鱒寿司店と常夜灯の分布

業種へと転換する魚屋が現れ、その一部は鱒寿司店へと転換した。

では、富山市内で鱒寿司店が並ぶ場所を歩いてみよう。現在も七軒町周辺にはたくさんの鱒寿司店がある。また、富山漁業協同組合の建物もこの付近にあるのは、川魚を取っていた魚屋がたくさんあったことの名残だと考えられる。ここで、地理院地図を用いてこの地域を見てみよう。国土地理院が提供しているweb版の地図である地理院地図には様々な種類の地図がある。その中の「土地条件図」を使うと、その場所の地形や成因を知ることができる。

鱒寿司店が立ち並ぶところを見ると、神通川の旧河道に沿っていることがわかる。このように、伝統的な店舗の立地には、その地域の歴史が反映されていることがわかる。馳越線工事がなければ鱒寿司が現在のような形で普及していなかったかもしれない。

### 昔の神通川の川幅を探る

神通川は蛇行して氾濫を繰り返す、橋を架けても流されるため、舟を並べて橋として利用してい

た。この舟を並べた両端には常夜灯が置かれており、現在でも残っている。ということは、常夜灯の間がかつての神通川の川幅であり、その間を歩くことは、昔の川の上を歩くことになる。現在では平らな地面にしか見えないが、そこかつては川で、川の上を歩いているのだと気づくと、不思議な感じになる。こんなに広い川幅を手作業の土木工事で埋めたことにも思いを馳せることができる。

### 地図と現地から昔を探る

身近な地域を歩くと様々な地物を目にするだろう。その地物がそこに存在する理由を探ることで、地域をより深く理解することができる。今回見た鱒寿司をとっても、この場所で生まれて育まれた理由がある。それは土地の成り立ちかもしれないし、まちづくりの歴史かもしれない。地域の新旧の地形図を比較することで、当たり前に見えていた地域が不思議に満ちた空間に変わるかもしれない。ぜひ地形図や地理院地図を見ながらまち歩きをしてほしい。



⑤ 現在でも残っている常夜灯



●大西 宏治  
(おおにし こうじ)

専門分野／人文地理学、まちづくり  
 主要著書／『世界の地域問題』（共編著、ナカニシヤ出版、2007年）、『遊びの力』（共編著、萌文社、2009年）、『大学的富山ガイド』（共編著、昭和堂、2020年）など。  
 日本文教出版『中学社会』教科書著者

# アイヌ文化の成熟と流通

● 京都大学教授 岩崎 奈緒子



▲ ① 縄綴船での航海の様子（『蝦夷紀行附図』 函館市中央図書館蔵）

## アイヌの人々に 物資をもたらした船

新学習指導要領には、アイヌの文化について扱うことが示されています。前近代の蝦夷地では、交易で得た品々を活かした独自の文化が成熟しま

した。では、アイヌの人々は蝦夷地外の地域からどのようにして物資を調達したのでしょうか。深い森に覆われた蝦夷地に陸路が整備されるのは、北海道と呼称が変わり開拓の始まる明治以降で、それまで遠隔地との流通を支えたのは船でした。



▲ ② 船を造る材木を切り出している様子（『蝦夷嶋図説』 函館市中央図書館蔵）

アイヌの人々が航海に用いたのは、<sup>なわとしふね</sup>縄綴船です(①)。積載量は15トン程度とされます。18世紀末には、蝦夷地東部のアイヌの人々が、この船を使って千島列島を島伝いに交易に出向いた記録が残っています。一つの船に10人程が乗り込んで、3、4艘が共に航海しました。図②③には縄綴船の製作工程が描かれています。一本の木でまず船敷(床材)を作り、<sup>げんそく</sup>舷側に板を綴じ付けた様子がわかります。



▲③船を組み立てている様子(『蝦夷嶋図説』函館市中央図書館蔵)

蝦夷地に物資を運んだ船のもう一つの主役は、アイヌの人々にとって最大の交易相手であった和人の船、<sup>べさいせん</sup>弁財船でした(④)。<sup>せんごくふね</sup>千石船とも呼ばれ約150トン積載できるものから、後には1800石(約270トン)積のものまで大型化しました。丈夫な木綿の帆が作られるようになった18世紀以降、弁財船は高速化し、帆走距離が大幅に延びたとされます。



▲④弁財船が描かれた船絵馬(船絵馬「権現丸」致道博物館蔵)

## 日本国内における流通構造の変化

江戸時代の前半、上方と蝦夷地をつないだのは、主に近江商人でした。彼らは運送用の船を雇い、

松前・蝦夷地の産物を日本海経由で小浜・敦賀に荷揚げし、その物資は琵琶湖を通過して京・大坂に届けられました。18世紀後半に多くの近江商人が没落すると、弁財船を所有し、蝦夷地での漁業経営から、輸送、販売までを一手に引き受ける商人が現れます。たとえば19世紀前半、藤野という商人は、1年に16艘もの船を、大坂・兵庫から西廻りで蝦夷地に派遣しています。

## 物資量の増大

アイヌの人々が縄綴船を造るには手間と時間が膨大にかかったでしょうし、航海には危険がつきものです。しかし、縄綴船よりもはるかに積載量の多い弁財船がやってくれば、アイヌの人々は居ながらにして、安全に、より安価に、より効率的に大量の物資を調達することができます。こうして18世紀後半以降、和人と間に、アイヌの人々が自ら収獲した海産物や毛皮等を日本の産品と交換する交易のほかに、和人の営む漁業に労働力を提供して物資を得る二様の関係が生まれました。

17世紀前半、アイヌの人々は自由に松前に行くことができなくなります。しかし、海外渡航を禁じられていた江戸時代の和人とは違い、アイヌの人々は、19世紀に入るまで樺太や千島列島を自由に往来できました。

大量の物資の流入は、アイヌの社会に、持つ者と持たざる者という階層差を生み出し、蝦夷地内の地域間の流通を促進したと考えられます。また、アイヌの人々による樺太や千島列島での交易品に、日本の産品が入っていたのも、流通量の増大があればこそ。本州以南からの蝦夷地への物資の流入は、アイヌの文化を育むとともに、アイヌの活動の幅を広げ、蝦夷地内外での交流を促進したと考えられます。

### ●岩崎 奈緒子 (いわさき なおこ)

専門分野/日本近世史

主要著書/『日本近世のアイヌ社会』(校倉書房, 1998年): 18世紀末のアイヌの社会構造の研究。蝦夷地外からの移入品が紛争解決や契約等アイヌの社会生活上の重要な局面で授受される慣行、及び、千島列島へと広がるアイヌ首長層の存在形態や活動実態を解明した。

日本文教出版『中学社会』教科書著者



# 匿名による表現は卑怯なのか？

## ～発信者情報開示制度の改正の検討～



●同志社大学大学院司法研究科教授 松本 哲治

### 問題の所在と発信者情報開示手続き

最近、ネット上、特にSNS上での匿名の表現による誹謗中傷が、問題となっています。匿名表現の場合は、事業者が任意で削除に応じるような場合を除いて、そもそも誰を相手に削除を請求したらいいのか分かりません。また、問題ある表現を放置した結果、事業者自身の損害賠償責任が発生するような場合を除いて、誰に損害賠償請求をしたらいいのかも分かりません。

このような場合に活用されるのが、プロバイダ責任制限法の、発信者情報開示です。通常、まず、①SNS事業者等（コンテンツプロバイダー）へのIPアドレス（インターネット上の機器の識別番号）等の開示が裁判所へ仮処分で求められ、これに基づいて、②携帯電話事業者等（サービスプロバイダー）への情報保全の仮処分と情報開示請求の訴訟が行われます。



▲発信者情報開示請求のながれ

### 改正の検討

この手続に時間がかかりすぎるとの指摘があり、総務省において研究会を設置し、改正の検討

を行っていたところ、近時いくつかの事件が生じ、これまでよりも広く開示を認めるべきだとの声も上がっています。どのような改正が検討されていて、そこにはどのような課題があり、なにに留意すべきなのでしょう。いくつかの点について、少し考えてみましょう。

まず、①における電話番号やログイン時情報といった開示事項の拡大が検討の対象となりました。これはSNSの普及に伴い対応が必要になっているところで、電話番号についてはSNSへの登録をこれだけで行う例がありますし、また、電話番号が開示されると、弁護士法に基づく弁護士会を通じた弁護士照会で本人を特定する情報が得られるという実務上の取扱いが拡大の背景にあります。ログイン時情報が取り上げられているのも、SNSの場合に投稿時の情報が保有されていないことがあるためです。電話番号については、早速8月末の省令改正で対象とされることとなりました。

次に、①②が煩瑣であるとして、これに代わる手続きを創設すべきだとの議論があります。②の手続きは、発信者情報開示とはいうものの、ここで匿名性が破れることは表現者には決定的で、サービスプロバイダーの判断は慎重になり、訴訟が長引くことに繋がっています。ただ、正当な批判と誹謗中傷の境界は微妙です。例えばテレビの出演者

が一人で受け止めるには重い罵詈雑言のように思われても、公共の電波で放送されている番組への批評は基本的に自由のはずです。リツイートに著作者人格権侵害を認めたつい先日の最高裁判決に

林景一裁判官（外交官出身）の反対意見があったことから分かるように、ここの判断は決して簡単ではありません。制度改正の行方は見通せませんが、明らかに問題にある事例については簡易迅速な救済が可能となるよう、工夫が求められるところです。

### 匿名表現の意義と今後の課題

もっとも、実効的な救済が重要とはいえ、そもそも、発信者情報開示手続において、「侵害情報の流通によって当該開示の請求をする者の権利が侵害されたことが明らかである」（同法4条1項1号）ことが求められるのは何故か、逆に言えば、この明白性を含む要件を欠けば、匿名性が保持されるべきなのは何故かということを考えておく必要があります。匿名は卑怯だと感じる人は多いでしょう。

このような匿名表現の保障の意義について、わが国で正面から論じた判例はありません。しかし、匿名の表現にも憲法の保障は及ぶべきです。香港国家安全法違反容疑で民主活動家の周庭（アグネス・チョウ）氏が逮捕されるいまの香港で、匿名表現を禁止したらどうでしょうか？ また、「すべて選挙における投票の秘密は、これを侵してはならない。選挙人は、その選択に関し公的にも私的にも責任を問はれない」（15条4項）のはなぜでしょうか。主権者としての最も重要な権利の行使は、匿名でなされることが憲法上の要請なのです。この他にも、判例は、記者には取材源の開示の拒否を認めることがあります。



▲ 選挙の投票の様子

### ● 松本 哲治（まつもと てるし）

主要著書／『憲法Ⅰ 総論・統治（第2版）』  
『憲法Ⅱ 人権（第2版）』（いずれも共著、  
有斐閣、2018年）、「経済的自由」 矢野  
常寿他編『総点検日本国憲法の70年』  
（岩波書店、2018年）、「一部違憲判決  
と救済」土井真一編著『憲法適格的解  
釈の比較研究』（有斐閣、2018年）  
日本文教出版『中学社会』教科書著者



上記の法律の規定の趣旨は、このような憲法的な文脈に位置づけることが適切です。

他方で、匿名表現にどれほど意義があろうと、重大な権利侵害に対して不可欠な救済が、匿名性をたてに全く不可能となってしまうことは容易に許すべきではないはずです。そのためにはまず、ログ（コンピュータの利用状況やデータ通信など履歴や情報の記録）の保存期間の長期化は検討に値します。匿名のままの訴訟関与も考えられてもいいかもしれません。ただ、ログの保存については、個人情報保護の観点から問題があります。さらにそもそも、IPアドレス等の情報を得るにしても、海外の事業者との訴訟に時間がかかる可能性、また、そもそもIPアドレスが辿れないという可能性もあります。この夏、大学等へのネット上での爆破予告が連続しましたが、IPアドレスが簡単に辿れるのであれば、同種の事案の発生は予防できるはずでしょう（もっとも、SNS上での誹謗中傷のような事案の多くはそこまで周到な用意を踏まえたものではないことも多いのかもしれませんが）。

最後に、この問題については、幅広い視点からの対応が必要でしょう。明らかに不適切な表現について事業者による削除を進めるとともに、事業者その他によるネットリテラシー等についての啓発を進め、SNS等で表示を制限する機能を活用して、誹謗中傷を受ける側が身を守ることができるように手助けすることも重要でしょう。

※香港国家安全維持法：中国の全国人民代表大会常務委員会が6月30日に全会一致で可決され、香港政府が同日に施行。香港の永住者と非永住者の両方に適用される。国家分裂罪・国家政権転覆罪・テロ活動罪・外国勢力と結託し国家安全に危害を及ぼす罪について最高で無期懲役が科される。施行前の行為には適用されないとされるが、どのような行為が具体的に対象とされるのかも含めて明らかではない点が多い。



# 「花のまち」恵庭 から 北のガーデンシティへ

～北海道恵庭市の取り組み～

●北海道恵庭市企画振興部まちづくり拠点整備室

## 恵庭市って、どこ？

恵庭市は、札幌市と新千歳空港のほぼ中間に位置し、都市機能と美しい田園環境（自然環境）をあわせもっている都市です。人口は緩やかに増加しており、市民意識調査（令和元年度 恵庭市）では市民の約92%が「住みやすい」、約88%が「今後も住み続けたい」と回答し、日々の暮らしに対する市民の満足度がとても高いまちです。

また、市民による庭づくりがさかんで、近年では「ガーデニングのまち恵庭」として各メディアに広く取り上げられ、観光客も多く訪れています。

## なぜ、花のまちなの？

1961（昭和36）年、市内にある定時制高校に小さな温室ができ、花の実験栽培が始まりました。あ



▲札幌大通公園に植えられた恵庭の花々



▲第1回恵庭花とくらし展のようす

る高校生らはそれからというもの、冬から春にかけて生産できる花苗に魅力を感じ、栽培して札幌のまちで売り歩いていました。当時は米づくりが農業の中心だったため、「園芸でメシが食えるか！」と反対されていました。

そのような中、屈することなく1965（昭和40）年には花壇苗の栽培に着手します。すると、「恵庭の苗は寒さに強く、花が長もちする」と評判になり、花苗の生産は大きく伸びていきました。

同時に市民の間では、「まちを花いっぱいにしてしよう」という取り組みがなされ、町内の花壇に花苗を無料配布したり、自衛隊の三つの駐屯地や市内小・中学校へも配布したりしました。瞬く間に、花いっ

ぱい運動が広がりをみせたのです。市内のグリーンベルトへの植樹や花壇コンクールも始まりました。

そうです。恵庭で花苗をつくり、それを恵庭市民が買い、恵庭市民が育てるという循環システムができあがったのです。

時が過ぎ、1990（平成2）年、市制20周年記念として、第1回「恵庭花とくらし展」が開催されます。恵庭市が本格的に市民と協働して推進するようになったのです。市では、花に関する窓口を一本化するため、花と緑の課（現在は、花と緑・観光課）ができました。

現在、北海道内の生産鉢数のうち、約30%が恵庭の花苗となっており、有数の生産地となっています。2008（平成20）年に開催された北海道洞爺湖サミットの会場では、恵庭産の花苗が多く使用されたり、また札幌大通公園にある花壇のうち、なんと約80%が恵庭の花で彩られたりしています。



▲ オープンガーデンの住宅



▲ 道と川の駅「花ロードえにわ」



▲ 緑と語らいの広場複合施設「えにあす」

ニュータウンである恵み野地区では、新たに開発された住宅団地が将来にわたり美しく成熟したまちをめざすため、市民の有志が1991(平成3)年にガーデンシティとして有名なニュージーランドのクライストチャーチ市への視察を行いました。それをきっかけに、オープンガーデンやガーデニングコンテストの取り組みが始まりました。

恵庭市のまちづくりの取り組みは、都市景観大賞「美しいまちなみ大賞」(国土交通省)、花の観光地づくり大賞(日本観光協会)、環境デザイン賞「国土交通大臣賞」(都市緑化機構・第一生命)など多数の賞を受賞し、全国的にも高い評価を受けています。

## コンパクトなまちづくりへ

今まで恵庭市では、拡大成長型のまちづくりをめざしてきました。しかし人口減少社会の状況を見据え、2010(平成22)年度に都市計画マスタープランの見直しを行いました。市内にある鉄道3駅を中心とした「コンパクトなまちづくり」へと転換し、将来目標

人口を10万人から7万1千人としました。コンパクトシティへの歩みが始まった瞬間でした。

各駅周辺地区では、都市機能の強化充実を図っています。まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立に向けて、この地で暮らすことに幸せを感じられるまちづくりが現在進行中です。

## ガーデンデザインプロジェクトって何?

ガーデンデザインプロジェクトとは、ガーデンシティ、コンパクトシティ、ニュータウンなど、職・住・観光機能の拡充を図るさまざまな施策をまとめたものです。大きくは、「花のヴィレッジ」「緑と語らいの広場複合施設」「工業団地の用地拡大」の3事業です。花のヴィレッジとは、道と川の駅「花ロードえにわ」を拠点に長時間滞在型施設を充実させることです。緑と語らいの広場複合施設とは、JR恵庭駅周辺における公共機能の集約と民間機能の誘致による賑わいの創出です。工業団地の用地拡大とは、現在7か所ある工業団地に加えて、新たに拡大をすることです。2020

(令和2)年には、第2期計画として、新たに防災・景観・環境・シティセールスなどを加え、更なる拡充を図っています。

## さいごに

ガーデンデザインプロジェクトは、「都市計画の祖」といわれる、19世紀のイギリスで活躍したE・ハウードの田園都市構想がモデルになっています。

E・ハウードの田園都市構想では、自然と共生し、自立した職住近接型の緑豊かな都市が提唱されました。ロンドン郊外に開発されたモデル都市レッチワースは開発後100年が過ぎてもなお、持続可能な都市として世界から注目されています。恵庭市ではその田園都市を追求し、北のガーデンシティをめざしています。皆さん、是非一度、北のガーデンシティを体感してみませんか。

### ● 問い合わせ先

恵庭市企画振興部まちづくり拠点整備室  
〒061-1498 北海道恵庭市京町1番地  
TEL:0123-33-3131  
FAX:0123-33-3137  
MAIL: machi@city.eniwa.hokkaido.jp  
URL: https://www.city.eniwa.hokkaido.jp

令和3年度版

# 中学社会 デジタル教科書・教材

各分野、3種類のデジタル教科書をご用意します。

- ・指導者用デジタル教科書（教材）
- ・学習者用デジタル教科書
- ・学習者用デジタル教科書+教材

令和2年度版  
小学社会  
デジタル教科書  
(教材)も  
好評発売中!

## 指導者用デジタル教科書（教材）

豊富なコンテンツで生徒の理解を助けます。

- グラフ・地図の読み取りに便利な「凡例別表示」
- 教科書掲載の全ての写真や図版をクリック一つで「単独拡大」
- 徹底的にこだわった動画資料などを収録



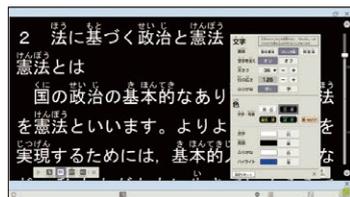
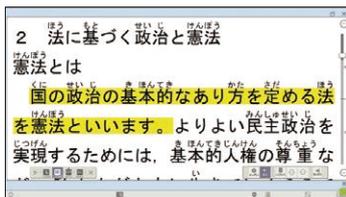
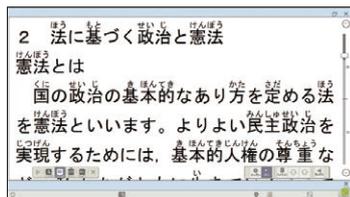
「体験版」を弊社ウェブサイトでご覧いただけます。



## 学習者用デジタル教科書

アクセシビリティの充実 特別な配慮を必要とする生徒に対して、効果的な機能を搭載しています。

- リフロー・総ルビ表示
- 機械音声読み上げ
- 背景色・文字色等の変更



## 学習者用デジタル教科書+教材

指導者用デジタル教科書(教材)から厳選した共通コンテンツを収録しているので、先生が提示したコンテンツを生徒が個別に繰り返し見ることができます。

※開発中のため、商品版とは異なる場合があります。予めご了承ください。



※表示ソフトウェアは「まなビューア」を採用しています。

## デジタル教科書・教材サポートサイト



「学習者用デジタル教科書」「指導者用/学習者用デジタル教材」の商品案内やお役立ちトピック、実践事例などをご紹介します。最新情報をお知らせしていきますので、是非ご覧ください。

日文 デジタルサポート 検索

## 社会科 NAVI Vol.26

日文教育資料 [小・中学校社会]

令和2年(2020年)10月16日発行

編集・発行人 佐々木秀樹

発行所 日本文教出版株式会社  
〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5  
TEL: 06-6692-1261

本書の無断転載・複製を禁じます。

CD33529

## 日本文教出版 株式会社

<https://www.nichibun-g.co.jp/>

- 大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5  
TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171
- 東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16  
TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618
- 九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14  
TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938
- 東海支社 〒461-0004 名古屋市中区葵1-13-18-7F・B  
TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261
- 北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1  
TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690